

2020年度 MELIC講習会 参加者アンケート集計結果報告

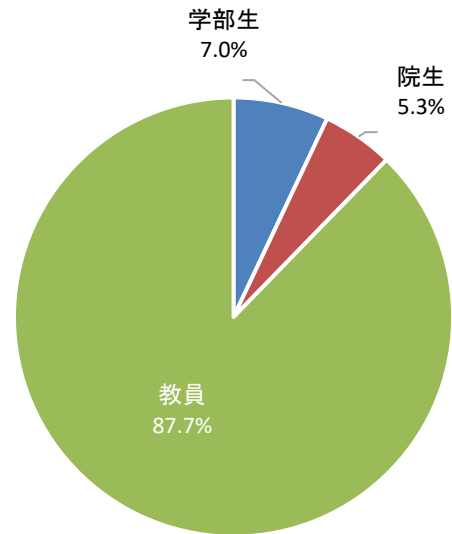
講習会名	Scopusで効果的な論文作成を！
日時	2020年8月7日(金) 14:00~15:00
開催方法	オンライン(Zoom)
講師	エルゼビア・ジャパン(株) 井上淳也
対象	■教職員 ■院生 □学部生 □短大生 □一般 □その他
参加者数	57名(内訳:教職員50名、院生3名、学部生4名、短大生0名、一般0名、その他0名)
使用データベース	Scopus

■参加者の内訳

A.利用者区分

利用者区分	人数	割合
学部生	4	7.0%
院生	3	5.3%
教員	50	87.7%
計	57	100.0%

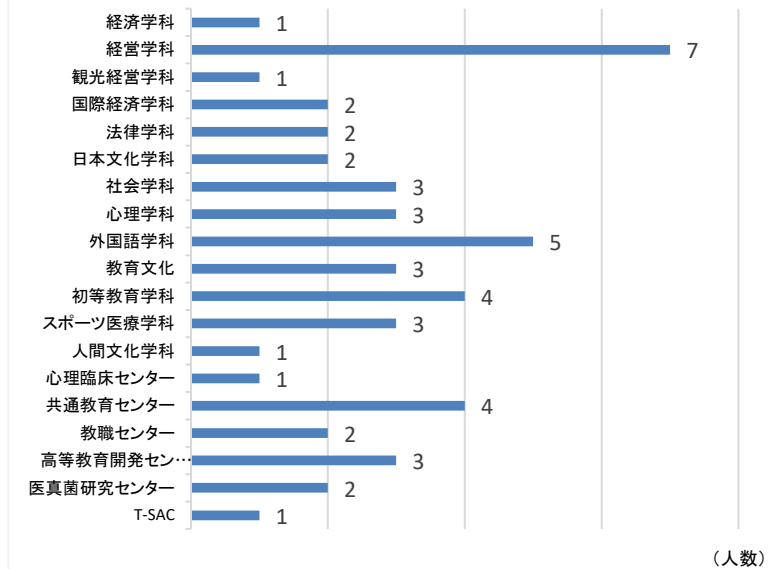
A.区分



B-1.所属学科(教員)

学科	人数	割合
経済学科	1	2.0%
経営学科	7	14.0%
観光経営学科	1	2.0%
国際経済学科	2	4.0%
法律学科	2	4.0%
日本文化学科	2	4.0%
社会学科	3	6.0%
心理学科	3	6.0%
外国語学科	5	10.0%
教育文化	3	6.0%
初等教育学科	4	8.0%
スポーツ医療学科	3	6.0%
人間文化学科	1	2.0%
心理臨床センター	1	2.0%
共通教育センター	4	8.0%
教職センター	2	4.0%
高等教育開発センター	3	6.0%
医真菌研究センター	2	4.0%
T-SAC	1	2.0%
計	50	100.0%

B-1.所属学科(教員)



B-2.学年、所属学科・専攻(学部生・院生)

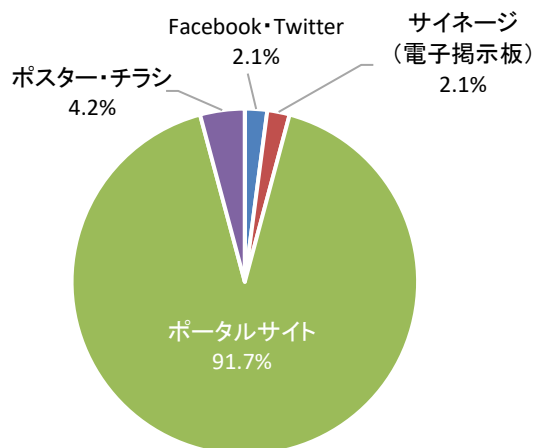
	1年	2年	3年	4年	院生	合計
経営学科			1			1
国際経済学科	1					1
社会学科	2					2
(院)経済学専攻					1	1
(院)経営学専攻					2	2
計	3	0	1	0	3	7
割合	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	100%

## ■アンケート集計結果

※各表における割合については、全て小数点以下第2位を四捨五入し整理しており、各表における割合の和と合計欄の数値が異なる場合あり。

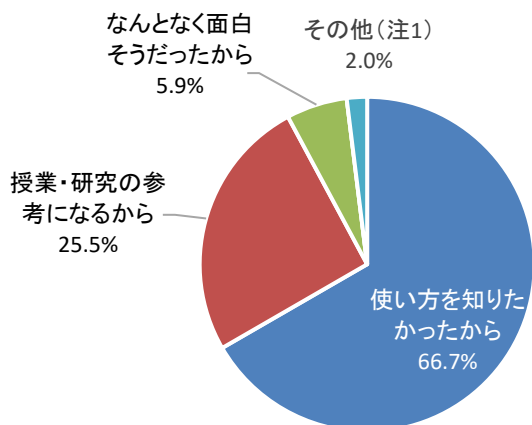
参加者数		57
アンケート入力数		48
回収率		84.2%

### [1] 本日の講習会のことを最初になにで知りましたか？



Facebook・Twitter	1	2.1%
サイネージ(電子掲示板)	1	2.1%
ポータルサイト	44	91.7%
ポスター・チラシ	2	4.2%
放送	0	0.0%
教員の誘い	0	0.0%
友人の誘い	0	0.0%
ホームページ	0	0.0%
計	48	100%

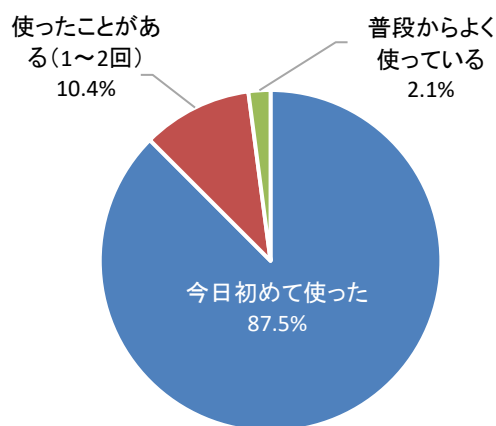
### [2] 参加しようと思った理由は何ですか？(複数選択可)



使い方を知らなかったから	34	66.7%
授業・研究の参考になるから	13	25.5%
なんとなく面白そうだったから	3	5.9%
教職員に勧められたから	0	0.0%
その他(注1)	1	2.0%
計	51	100%

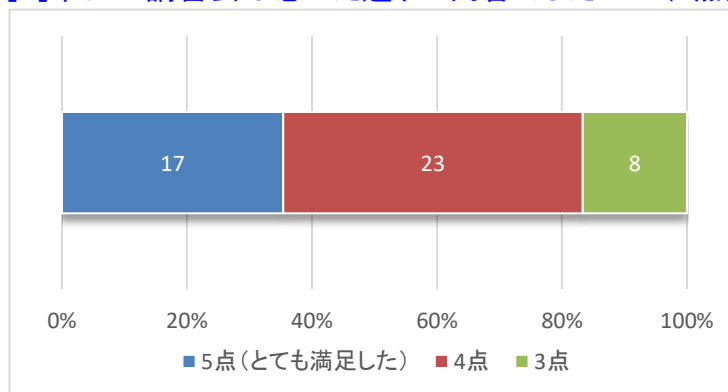
(注1) 学生からの質問-情報収集のため

### [3] 今まで「Scopus」を使ったことがありますか？



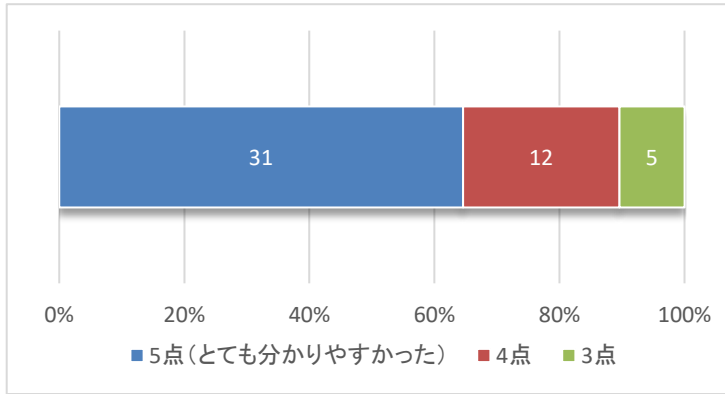
今日初めて使った	42	87.5%
使ったことがある(1~2回)	5	10.4%
普段からよく使っている	1	2.1%
計	48	100%

### [4] 本日の講習会は思った通りの内容でしたか？(5点満点)



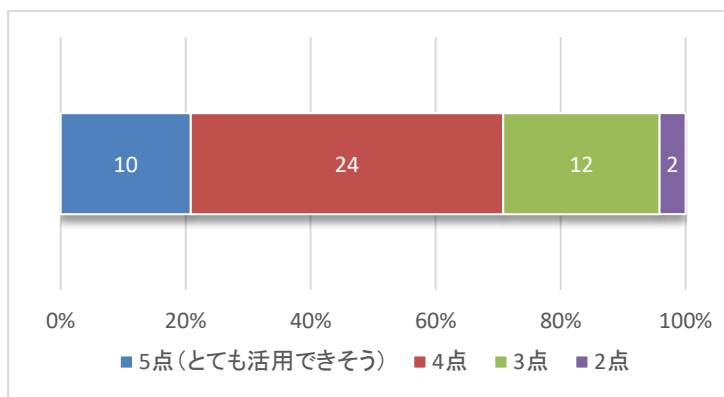
5点(とても満足した)	17	35.4%
4点	23	47.9%
3点	8	16.7%
2点	0	0.0%
1点(全く満足しなかった)	0	0.0%
計	48	100.0%

[5] 講師の説明はわかりやすかったですか？ (5点満点)



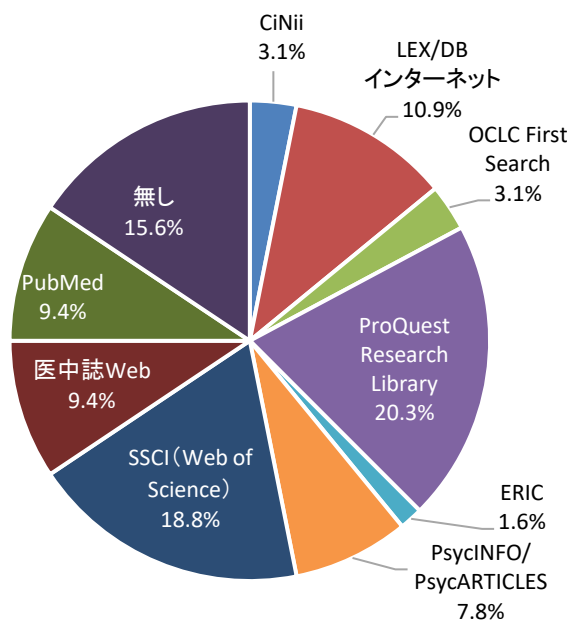
5点(とても分かりやすかった)	31	64.6%
4点	12	25.0%
3点	5	10.4%
2点	0	0.0%
1点(とても分かりにくかった)	0	0.0%
計	48	100.0%

[6] 今後「Scopus」を活用できそうですか？ (5点満点)



5点(とても活用できそう)	10	20.8%
4点	24	50.0%
3点	12	25.0%
2点	2	4.2%
1点(全く活用できない)	0	0.0%
計	48	100.0%

[7] 講習会開催を希望するデータベースがあれば選んでください。(教員のみ回答・複数選択可)



CiNii	2	3.1%
LEX/DBインターネット	7	10.9%
OCLC First Search	2	3.1%
ProQuest Research Library	13	20.3%
ERIC	1	1.6%
PsycINFO/PsycARTICLES	5	7.8%
SSCI(Web of Science)	12	18.8%
医中誌Web	6	9.4%
PubMed	6	9.4%
無し	10	15.6%
計	64	100%

## ★感想をひとことで(20文字以内,一部抜粋)

### わかりやすかった・活用したい

- ・詳しい検索方法が分かり助かりました。
- ・大学院時代はweb of scienceをよく使っていましたが、scopusもよかったと感じました。
- ・また違った検索方法があることがわかり、こちらの方がインパクトにわかって使いやすそうです。
- ・文書ではなく言葉で説明されると理解がよくできるので、こういった企画は有用だと思います。
- ・大学院生全員に視聴してほしい内容だった。
- ・グローバルな情報収集ができそうだなと思いました。
- ・論文検索、研究の動向確認に役立ちそう。
- ・査読付きということで使ってみたくなりました。
- ・Scopusを使用する最初のきっかけになりました。
- ・今後のレポート制作に活用しようと思いました。
- ・読むべき文献を検討する際の指標の一つとして参考にしていけるということを知ることができ有益でした。

### ここがよかった

- ・引用分析の仕方を詳しく知れてよかったです。
- ・Zoomの運営もスムーズでとてもストレスなく参加できた。
- ・評価されているインパクトのある論文を探せる点が良いと感じました。
- ・より質の高い論文検索ができる。

### その他

- ・実際に使う研修ができると良かった。
- ・よい説明でしたが、もう少し、ゆっくり話してもらいたかった。
- ・操作方法の説明は、わかりやすかったのですが、自分には分野的に遠すぎて感覚がつかみにくかったです。
- ・人文科学研究、日本文化研究にはまだあまり役立たないと感じた。
- ・ZOOM開催は、コロナ禍の状況が解消しても継続してほしい。
- ・なかなか面白いが、人文系とはやはり観点が異なる。
- ・検索してもその論文雑誌が帝京大学と契約していないケースが多いので、読めないのだろうなと思いながら聞いていました。
- ・日本語が検索できない点は残念。

## ★よかった点(一部抜粋)

### Scopusについて

- ・Scopusの特徴を分かりやすく教えていただけてよかったです。
- ・グーグルほどのお手軽さはないかもしれませんが、逆に国際的に確かな論文を検索できることがわかりました。学生は英語論文を検索しません。その理由の一つがわかりやすい検索ツールがないということですが、これは使えるかもしれません。
- ・著者検索が分かりやすくて良いと感じました。
- ・今後、日本研究として英語による文献にも目を通したいと思います。
- ・検索結果で出てきた情報の信頼性について気を付けようと思ったこと。
- ・自然科学の研究方法に触れられた。
- ・客観的評価を知る方法を学ぶことができた点はよかった(もちろん、それが自分にとって使える文献であるかは別ではあります)。
- ・他分野と関わる研究を行う場合には使えるかなと思いました。
- ・分野によって、被引用回数の平均値が異なる点の対比的説明箇所等です。

### 進行、講師について

- ・PowerPointや実際の画面を交互にすることで、分かりやすく且つ実際に使うときの脳内シミュレーションができました。
- ・英語表記のものも、日本語の意味を解説しながら丁寧に進めていただいた点。
- ・インタラクティブな投票がちょうどよい時間に組み込まれていてよかった。
- ・説明が端的で明瞭でした。また、例を挙げて実際に操作もしてくださったので具体的に使い方を理解することができました。
- ・短い時間に盛沢山だったこと。実際の使用画面を表示していただいたこと。
- ・Zoomの利用が非常に上手で、スムーズに説明が進んでいて、分かりやすかった。

### 開催方法について、その他

- ・ZOOM開催がスケジュール調整しやすくよかった。
- ・場所を問わず参加できることです。コロナが終息してもこのようなオンラインのセミナーは継続してほしいです。
- ・本企画、コロナ以前でも対面の講習会だったら参加しなかったと思いますが、遠隔だったので気軽に参加できた点がよかったと思います。

## ★もっと詳しく説明を聞きたかった点(一部抜粋)

- ・検索結果で、2021年と表示されるものがあつたが、この理由が知りたかった。
- ・英語圏の人文系の学者はどういった検索方法を使っているのか。
- ・Scopusで見つけた文献と大学で提携しているDB(電子ジャーナル)との連携などができるのかなどを知れると、研究のフローに組み込めるかなどを具体的に考える上で参考になると思いました。
- ・論文の要旨や目次などの見方。
- ・自分にあつたジャーナルというところなど、あのあたりの話をもう少し詳しく知りたかった。
- ・論文を引用して実際に自分の論文を作りだす手順。

- ・伝統的専門誌でありながら査読なしの文献の取り扱いや、査読実施開始初年度の明示等についてです。
- ・学会でも知らない人がいないほどの大御所クラスであり英語論文も執筆している教授の論文を検索しても論文が一本ほどこしか掲載されていないのが何故なのかわからなかった。海外でも活躍しているはずの中堅クラスの研究者は検索に全く引かかかってこない。当然ながら、アルファベット・英語で検索しても同じ結果であった。(なお、日本語では検索できないことは最初に言うべきであった。)日本の社会科学の分野ではまだまだ掲載されている論文自体が少ないのではないかと。日本の社会科学に携わる研究者がScopusを使うことは、現段階では難しいのではないだろうか。

以上